

株主の皆様へ

UACJ

Leading Aluminum. Leading the Way.

2015年3月期
上半期報告

2014年4月1日～2014年9月30日



株式会社UACJ

証券コード：5741



世界的な競争力を持つ アルミニウムメジャーグループとして。

アルミニウム圧延品の年間生産力が100万トンを超える、世界屈指のスケールメリット。

高品質なアルミニウム製品を生み出す、世界トップクラスの設備と技術力。

そして、世界各地の需要にタイムリーに応えるグローバルな生産・販売体制。

UACJグループは、これらの強みをもとに世界市場で通用する競争力を発揮し、

世界中の幅広い分野に価値あるアルミニウム製品を提供しています。



統合から1年を経て、
グローバルメジャーへの道のりを
着実に歩んでいます。

当上半期について

当上半期の国内における経済環境は、設備投資の増大や失業率の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いています。その一方で、消費税率引き上げの影響から回復しつつあった個人消費には、陰りが見えはじめています。

アルミニウム圧延業界の国内需要については、消費税率引き上げ前の駆け込み需要からの反動は想定ほど小さくなく、多くの需要分野で前年同期を上回りました。しかし、主力となる缶材については、夏場以降の天候不順の影響により需要が鈍化しました。また、国内の自動車生産台数が縮減傾向にあるなか、自動車向け製品の需要も減少しています。

こうした業界環境を受けて、当上半期のUACJグループの売上高は、古河スカイ株式会社と住友軽金属工業株式会社の経営統合による事業規模の拡大はあったものの、旧両社の合算ベース[※]との比較では微増にとどまりました。

損益面では、電力や燃料などのエネルギー価格の



代表取締役会長 CEO

山内 重徳

代表取締役社長 CEO

岡田 満

高騰による影響などを受けたものの、統合以来進めてきた合理化などの成果や地金価格の上昇にともなう棚卸資産の影響により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増益となりました。

これらの結果、当上半期のUACJグループの業績は、売上高は2,806億円(前年同期比193.2%増加、合算ベース[※]比較では5.3%増)、営業利益は131億円(同170.1%増、合算ベース[※]比では8.3%増)、経常利益は117億円(同131.3%増、合算ベース[※]比では20.6%増)、四半期純利益は56億円(同237.3%増、合算ベース[※]比では60.0%増)となりました。

[※]旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算
Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.は持分法適用会社から
連結子会社に単純組替

グローバルメジャーに向けた取り組み

当社グループは、統合以来、「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」の実現に向けた施策を強力に推進してきました。当上半期においても、グローバル展開の強化に向けた施策を着実に実施しています。

北・中米エリアでは、軽量化に向けてアルミニウム化が加速する自動車パネル用材の供給力強化に向けて、欧州のConstellium N. V.社との共同事業が2014年5月に決定。7月にはケンタッキー州に年間10万トンの生産能力をもつ工場の建設に着工しました。

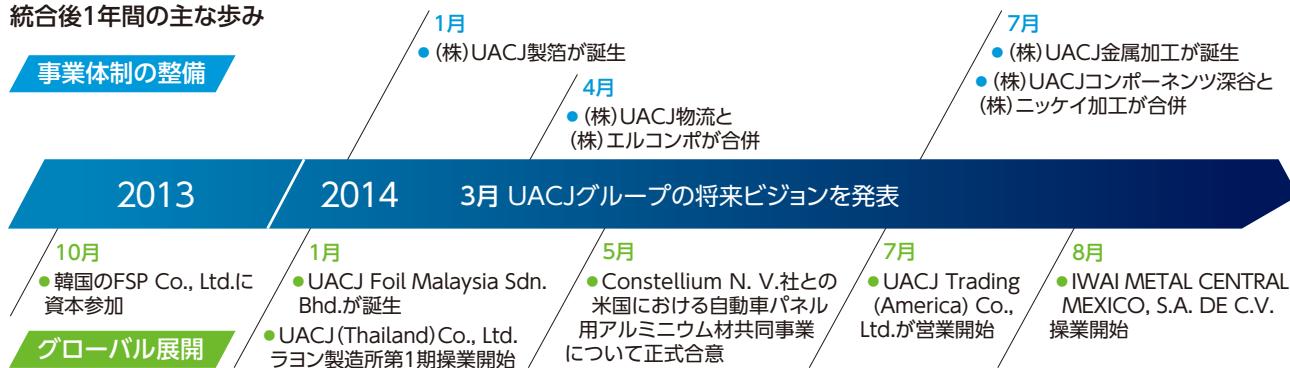
また、6月には米国における自動車関連部材、IT関



順調に整地が進む米国合弁会社の工場建設用地

連部材などの販売強化に向けて、カリフォルニア州に商社機能をもつ現地法人UACJ Trading (America) Co., Ltd.を設立。さらに、メキシコでも自動車部品の製造販売を行うIWAIMETAL CENTRAL MEXICO, S.A. DE C.V.を2月に設立し、8月に操業を開始しました。

統合後1年間の主な歩み



もうひとつの大きな動きとして、東南アジアエリアでは、2012年からタイに建設を進めてきたUACJ (Thailand) Co., Ltd.ラヨン製造所が、順調に立ち上がりつつあります。2014年1月には、冷間圧延工程以降の第1期ラインが稼働を開始しており、2015年には第2期ラインも完成し、鋳造工程からの一貫製造が実現する予定です。経済成長を背景に、缶材や自動車用材の需要拡大が見込まれるこのエリアで、同工場は高品質とコスト競争力を両立する世界トップクラスの本格的なアルミニウム板圧延工場として、強い競争力を発揮することが期待できます。

UACJグループは、今後も日本、タイ、米国を基軸にしたグローバル供給体制を強化し、グローバルマーケットでの存在感をさらに高めていきます。



鋳造工程からの一貫製造に向けて建設中のラヨン製造所

今後の見通しと株主還元について

下半期は、主力の缶材に需要の鈍化が見られるとともに、自動車生産台数についても縮減傾向が懸念されるなど、先行きに不透明感が強まっています。

損益面においても、エネルギー価格の上昇が収益を圧迫する懸念があり、引き続き注視する必要があります。

こうした状況を踏まえる一方で、地金価格の上昇にともなう棚卸評価関係が影響し、通期の業績については、これまでの予想を上方修正し、売上高5,800億円、営業利益265億円、経常利益230億円、当期純利益105億円としています。

株主の皆様への配当につきましては、中間配当は1株につき3円で実施し、期末配当は3円、年間合計6円でそれぞれ予定しています。

株主の皆様には、今後も変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業拡大が進む北・中米エリア

米国やカナダ、メキシコなどを含む北・中米エリアは、世界でも有数のアルミニウム市場です。UACJグループは、このエリアを日本、タイとともにグローバル戦略の要と位置づけ、缶材および自動車用材を軸に製造・販売拠点を整備するなど、積極的な事業拡大を進めています。

アルミニウム缶市場で世界最大の米国に 世界最大規模の製造拠点を確立



北米市場では、年間約940億個のアルミニウム缶が消費されており、世界最大の缶材市場となっています。こうした旺盛な需要に応えるため、米国のアルミニウム圧延会社全体で、年間約200万トンもの缶材を生産し、うち約160万トンが北米内で使用されています。これは、日本の缶材市場の約4倍の市場規模となります。

この北米市場において、UACJの連結子会社 Tri-Arrows Aluminum Inc. (以下TAA) は、単一工場として世界一の缶材生産量を誇るアルミニウム圧延会社を共同運営。

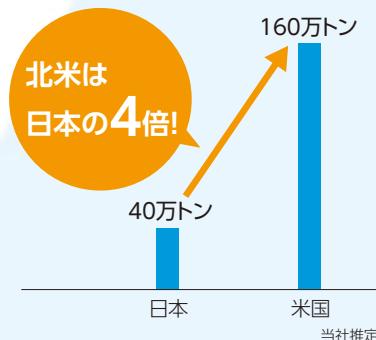
世界トップクラスと評価される高いコスト競争力を発揮し、世界最大のアルミニウム缶需要に応えています。

2014年6月
自動車関連部材、IT関連部材などを扱う商社UACJ Trading (America) Co., Ltd. を設立。

● IWAI METAL (AMERICA) CO., LTD.

2014年2月
自動車部品製造販売会社 IWAI METAL CENTRAL MEXICO, S.A. DE C.V. を設立。

日米缶材市場規模比較



燃費規制強化とともに アルミニウム化が進む自動車用材 その需要拡大に応えるため業容を拡大

- SK Corporation America
- PennTecQ, Inc.
- Logan Aluminum Inc.
- Tri-Arrows Aluminum Inc.
- Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.

2014年5月

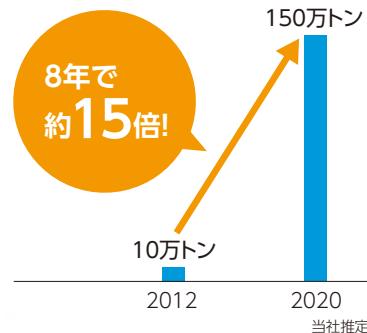
欧州のConstellium N.V.社と自動車パネル用材を製造販売する合併会社の設立に合意。ケンタッキー州に年間生産量10万トンの生産拠点を建設し、2016年に生産開始予定。

北米の自動車市場では、燃費規制の強化とともに、車体の軽量化に向けて、自動車パネル材のアルミニウム化が急速に進んでいます。今後はドアやフェンダーなどについてもアルミニウム化が進み、自動車1台当たりのアルミニウム使用量はさらに増加するものと予測されています。

こうした需要拡大に応えるため、UACJは、欧州Constellium N.V.社と、米国での自動車パネル用アルミニウム材の共同事業を開始することで合意。新設される工場には、TAAからも母材を供給する計画であり、米国内で母材から生産できる強みを活かして、米国市場のニーズにタイムリーに応えていきます。



米国における自動車パネル用アルミニウム材需要予測



● 2013年以前の拠点

連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	当第2四半期 連結会計期間 (2014年9月30日)
資産の部		
流動資産		255,062
固定資産		385,985
有形固定資産		272,745
無形固定資産		64,685
投資その他の資産		48,555
資産合計		641,047
負債の部		
流動負債		267,054
固定負債		201,504
負債合計		468,558
純資産の部		
株主資本		149,514
その他の包括利益累計額		9,561
少数株主持分		13,415
純資産合計		172,489
負債純資産合計		641,047

連結損益計算書

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～9月30日)
売上高		280,586
売上原価		243,484
売上総利益		37,102
販売費及び一般管理費		24,041
営業利益		13,061
営業外収益		1,014
営業外費用		2,358
経常利益		11,716
特別利益		17
特別損失		792
税金等調整前四半期純利益		10,942
法人税、住民税及び事業税		2,628
法人税等調整額		2,006
少数株主利益		739
四半期純利益		5,569

連結包括利益計算書

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益		6,308
その他の包括利益		3,150
四半期包括利益		9,458

連結キャッシュ・フロー計算書

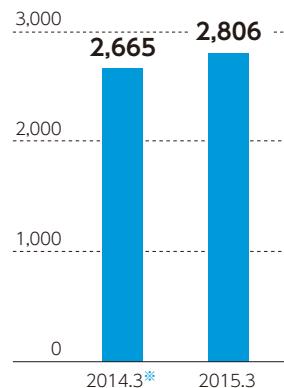
単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 25,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		20,866
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 200
現金及び現金同等物の増減額		4,189
現金及び現金同等物の期首残高		17,471
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		274
現金及び現金同等物の四半期末残高		21,934

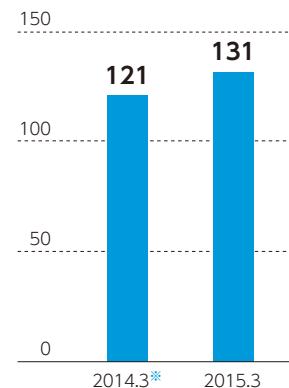
連結決算ハイライト

各年度：4月1日～9月30日、単位：億円(四捨五入)

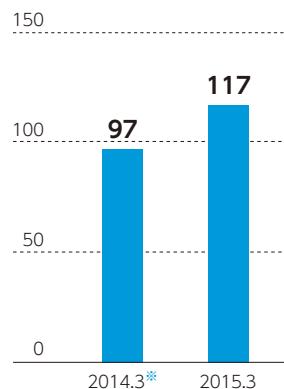
連結売上高



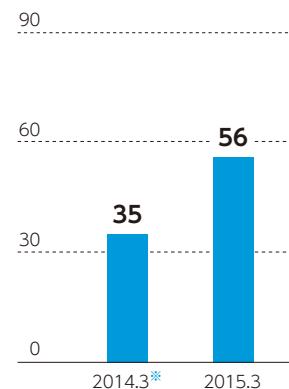
連結営業利益



連結経常利益



連結四半期純利益



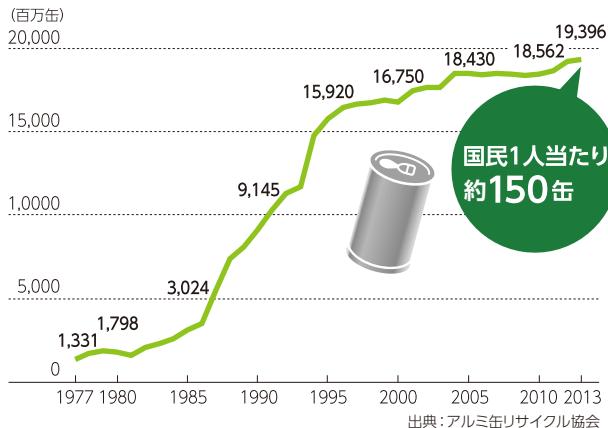
※ 旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算
Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.は持分法適用会社から
連結子会社に単純組替

暮らしに深く浸透してきた アルミニウム缶

使いやすさを追求しながら 普及してきたアルミニウム缶

国内のアルミニウム缶消費量は年々増加を続けており、2013年には約194億缶、国民1人当たり約150缶に達しています。これだけ大量に消費されているのは、より使いやすくなるよう進化を続けてきたから。UACJもその前身において、そうしたアルミニウム缶の進化に大きく関わっています。例えば、飲料缶用のふた材は住友軽金属工業が、ボディ材は古河スカイが、それぞれ日本で初めて開発しています。

国内アルミニウム缶消費量推移



アルミニウム缶の進化の歴史

1965年

プルトップ式の
缶ビールが発売



缶切りが不要

“よく冷えた”を可能に



1971年

オールアルミニウム製の
缶ビールが登場

1989年

タブのポイ捨て防止に



ステイオンタブの
飲料缶を発売

誤飲防止に有効

1995年

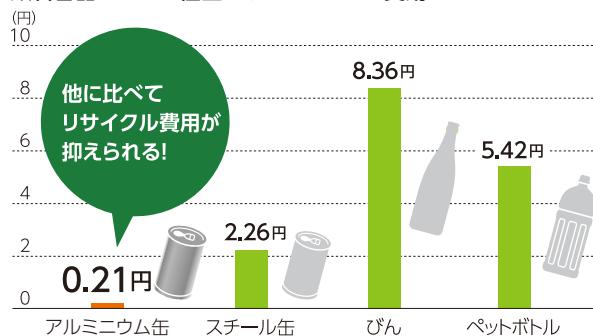
“おさけ”を点字表示した
飲料缶が登場

画像提供：サッポロホールディングス株式会社(1965年)、アサヒグループホールディングス株式会社(1971年)、宝酒造株式会社(1989年、1995年)、大和製罐株式会社(2000年)

リサイクルに一番適した 容器素材、アルミニウム

他の飲料容器に比べて、リサイクル率が高いアルミニウム缶。その理由は、リサイクルコストの低さと、省エネ効果の高さです。アルミニウム地金にするためのエネルギー使用量が、原料からの場合のわずか3%で済み、1缶リサイクルすれば液晶テレビを2~3時間見られるほどの電気代の節約になります。

飲料容器500ml1個当たりのリサイクル費用



出典：一般社団法人 日本アルミニウム協会

2000年

ボトル型
アルミニウム缶が登場



持ち運びに便利

TOPICS アルミニウム缶の需要が高まる 東南アジアで唯一の世界トップクラス 大型アルミニウム板圧延工場を建設

東南アジアでは、旺盛な飲料消費に後押しされ、アルミニウム缶の需要が年間140億缶に達しており、今後も7~8%の成長率を維持するものと見られています。こうした需要に対応するため、UACJグループは、タイ国内に東南アジア唯一となるアルミニウム板圧延工場の建設を進めており、現地でのシェア拡大が期待されています。

タイにおける缶材輸入量の推移



出典：UBS証券株式会社



このコーナーでは、国内外の製造拠点を各製造所の社員が紹介します。今回は世界最大級の設備規模を誇る福井製造所を紹介します。

世界有数の大型設備と高度な技術力で 巨大なアルミニウム厚板を製造

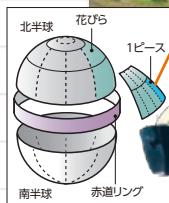
福井製造所の最大の強みは、全長400メートル、幅4.3メートルに及ぶ大型圧延機をはじめとした、世界最大規模の生産設備群です。これら設備とともに、ハイレベルで均一な品質を実現する技術力を兼ね備えているからこそ、LNG船に使用される畳約40畳分にも及ぶアルミニウム厚板を国内で唯一、私たちだけが製造できるのです。



国内最大級の
大型スラブを
製造



大型圧延機に
通して巨大な
厚板を製造



国内で唯一
LNG船用厚板を
供給可能



世界的な品質規格の認定工場として 航空宇宙分野に用いられる高品質な製品を供給

福井製造所では、LNG船用厚板のほか、航空機やロケットなどの部材を供給しています。これらの部材は厳しい品質規格が定められており、認定を受けたメーカー以外には納品ができません。福井製造所は、航空宇宙産業の世界的な品質規格AS9100の認証を、国内で初めて取得。さらに、水中超音波探傷検査をはじめとした特殊工程において厳密な管理が求められる世界的な認証システムNadcapの認定も、国内アルミニウムメーカーとして初めて取得しています。これらの認定のもと、高い品質要求を満たした部材を世界の航空宇宙産業向けに供給しています。



© JAXA

宇宙空間にも耐えうる
高品質な部材を供給

福井製造所って、どんなところにあるの？

福井製造所は、北陸でも指折りの景勝地、東尋坊の対岸にある福井臨海工業地帯に位置しています。宮内庁御用達の越前ガニをはじめ、海の幸に恵まれた地域であり、北陸三大祭りに数えられる「三国祭」でも知られています。観光地の近隣という立地ゆえに、設立当初から地元の自治体とも連携しながら、地域環境と調和した工場を目指した取り組みに注力しています。



会社データ

名 称	株式会社UACJ (英文名:UACJ Corporation)
事業内容	アルミニウム・銅等の非鉄金属及びその合金の 圧延製品・鋳物製品・鍛造製品並びに加工品の 製造・販売など
資本金	450億円

拠点一覧

本 社	東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
製 造 所	名古屋(愛知県)/福井(福井県) 深谷(埼玉県)/日光(栃木県)
支社・支店	中部支社(愛知県)/関西支社(大阪府) 九州支社(福岡県) 北海道支店(北海道)/静岡支店(静岡県)
技術開発 研 究 所	深谷センター(埼玉県)/名古屋センター(愛知県)

役員一覧

取 締 役	代表取締役会長 CEO	山内 重徳	執行役員	常務執行役員	長谷川 久
	代表取締役社長 CEO	岡田 満		執行役員	松浦 達郎
	取締役兼専務執行役員	伊東 修二郎		清水 洋二	福井 裕之
		白石 重和		楠本 昭彦	新堀 勝康
		取締役兼常務執行役員		荘司 啓三	種岡 瑞穂
		中野 隆喜		石原 美幸	
	監 査 役	常勤監査役		田中 清	山口 明則
				土屋 博範	阿部 禎一
				茨江 和久	川島 輝夫
				取締役(社外、非常勤)	鈴木 俊夫
監査役(社外、非常勤)			阿部 和史	手島 雅裕	
			石原 宣宏	今泉 明人	
	浅野 明	Patrick Franc			
		佐藤 哲哉			
		大前 浩三			
		曾根 貴史			

株式の状況

発行可能 1,700,000,000株

株式総数

発行済 428,281,934株

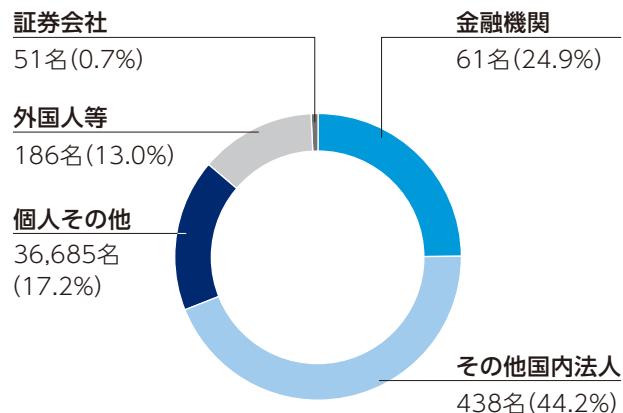
株式総数 ※ 自己株式419,066株を含む

株主数 37,421名

大株主

株主	持株数(千株)	持株数比率(%)
古河電気工業株式会社	120,365	28.10
新日鐵住金株式会社	37,446	8.74
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	24,441	5.70
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	18,696	4.36
住友商事株式会社	10,936	2.55
野村信託銀行株式会社(投信口)	9,087	2.12
株式会社三井住友銀行	7,330	1.71
株式会社みずほ銀行	7,303	1.70
MSCO CUSTOMER SECURITIES	6,624	1.54
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC / JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	6,348	1.48

所有者別の構成比率(株式数比率)



事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
公告方法	電子公告 http://www.uacj.co.jp/ (やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

株式会社UACJ

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号
東京サンケイビル
Tel. 03-6202-2600(代表) Fax. 03-6202-2021
<http://www.uacj.co.jp/>



単元未満株式の買取制度のご案内

当社では、単元株制度を採用しており、1単元は1,000株とさせていただきます。

単元未満株式(1～999株)は議決権がなく、また証券市場にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律および当社定款・株式取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取制度をご利用いただけます。

※2014年12月31日までの期間限定で、単元未満株式の買取請求に際して当社にお支払いいただく買取手数料を無料としていますが、2015年6月30日まで延長いたします。

証券口座に株式をご所有の株主様

お取引の証券会社にお問い合わせください。

特別口座に株式をご所有の株主様

下記の通り、お問い合わせください。

●旧住友軽金属工業の株式をお持ちであった株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

●旧古河スカイの株式をお持ちであった株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)